

取組概要

- 災害に強いまちづくりの実現のためには、何よりも住民の公德心の復興が重要。
- 平成17年度から防災士養成に取り組み、市内の防災士がついに全国1位の1万人を数える。
- 小学生から大学生に至る一貫した防災人材育成システムの導入、年間延べ約10万人が参加する自主防災会の各種防災活動、市内の全中学1年生(約4,000名)が実践するマイタイムライン講座、防災士フォローアップ研修など、全国的にも類をみない活動を展開。
- 養成された防災士は、防災リーダーとして、自主防災活動、学校防災教育活動など、各方面で活躍している。



愛媛大学防災士養成講座



防災士フォローアップ研修

先駆性・革新性

- 公德心に富む防災士を核として住民の連携強化を図り、地域防災力を強化。
- 小中高校生と大学生の防災リーダークラブを設け、一貫した防災教育システムを構築。家庭や地域のつながりを強化し、若き防災人材を継続的に育成。
- 防災士資格取得費用を、全額公費負担としており、これは全国初の取組。
- 防災士養成は、松山市と愛媛大学の組織連携で実施され、毎年約500名の防災士が誕生。

団体概要

- ・松山市
人口:50万人 市長:野志克仁
- ・松山防災リーダー育成センター(於:愛媛大学)
設立年:平成30年
担当教職員:7名(兼任を含む。)

※ 愛媛大学と東京大学、それと松山市が中心となって、松山市の防災教育に関わる官民学の関連組織からなる松山市防災教育推進協議会を設置し、その協議会からの委託で、愛媛大学に松山防災リーダー育成センターを寄付講座として設置。